



**The professional home for the engineering
and technology community worldwide**



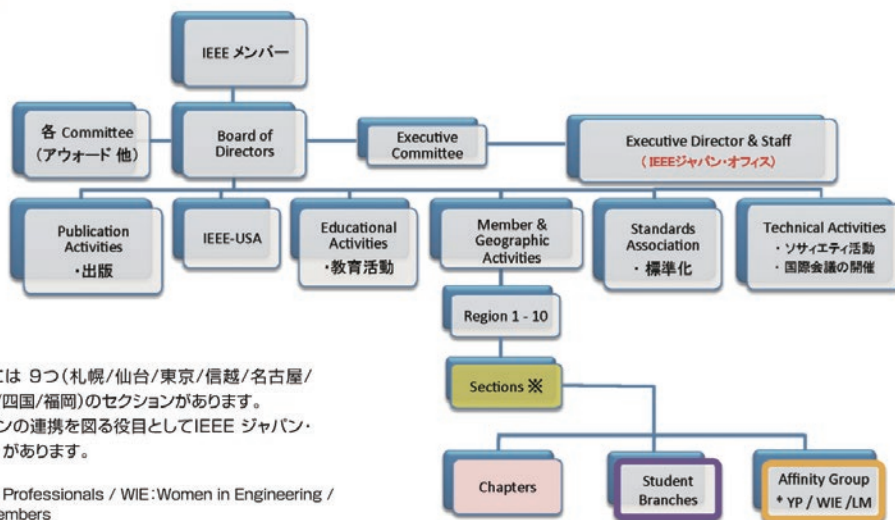
IEEEについて

IEEE (アイトリプリー) とは、電気電子関連の技術者による世界最大の専門家組織です。

American Institute of Electrical Engineers (AIEE、1884年設立) と Institute of Radio Engineers (IRE、1912年設立) の統合により1963年1月にスタートしました。AIEEの設立からすると2024年で140年を迎えます。IEEEは米国において公益法人に指定されています。

IEEEは人類社会に有益な技術革新を発展させることをミッション (IEEE's core purpose is to foster technological innovation and excellence for the benefit of humanity) としており、IEEEおよびIEEEメンバーは、世界中の専門家・技術者により引用される600万件以上の出版物、国際会議開催、標準規格策定、教育、キャリア形成支援活動を通じ、国際社会をインスパイアしています。

IEEE組織図



※ 日本国内には 9つ(札幌/仙台/東京/信越/名古屋/関西/広島/四国/福岡)のセクションがあります。各セクションの連携を図る役目としてIEEE ジャパン・カウンシルがあります。

* YP: Young Professionals / WIE: Women in Engineering / LM: Life Members



TAP. CONNECT. NETWORK. SHARE.

Download Today!

Available on the App Store | GET IT ON Google Play

IEEE
Advancing Technology
for Humanity

主な活動



メンバーシップ

世界190以上の国々に46万人以上のメンバーを擁します。IEEEの主な活動はすべてこのメンバーのボランティア活動により成り立っており、メンバーは様々な活動を通じてネットワークを広げ、プロフェッショナルとしての経験と成長の機会を得ています。



Society

IEEEには39のSocietyがあり、それぞれが専門分野で活躍する391,074人のSocietyメンバーに様々な利点を提供しています。Societyの会員になることで自身の選んだ技術分野の最新情報をキャッチアップしたり、国内外の研究仲間とのネットワークを構築したり、主な専門家との研究やプロジェクトに協働したりする機会があります。



出版 **IEEE Xplore®** Digital Library

IEEEでは全世界の電気電子関連技術出版物の約1/3を刊行しており、そのうち200タイトル以上の定期刊行物を含みます。IEEE Xplore Digital Libraryでは600万件以上の、多岐に渡る専門分野の論文誌、雑誌、レター、予稿集およびアクティブなIEEE標準規格の文献をご利用いただけます。



国際会議の開催

世界106ヶ国で毎年2,000件以上の国際会議を開催／協賛しており、56万人以上に参加いただいています。日本では平均して年間60件以上の国際会議が開催されています。これらの会議に投稿された20万件以上の論文がIEEE Xploreに毎年追加されます。



IEEE標準規格策定

ワイヤレスネットワークで知られるIEEE 802®をはじめ、約1,144の標準規格をもつIEEEは、今日の通信、情報技術、発電製品とサービスの多くを支える国際標準規格のリーディングデベロッパーであり、幅広い新技術標準化のソースとなっています。現在もなお1,018以上のプロジェクトで標準規格を開発中です。



キャリア形成支援

IEEEでは工学、研究その他技術分野での幅広い学習プログラム提供、キャリア形成支援および就職支援をしており、IEEEメンバーおよび工学・科学界の専門家のスキルと知識の継続的向上をサポートします。

メンバーシップについて

IEEEは190以上の国々に約460,000人の会員（うち学生会員約171,000人）を擁し、会員の66%以上は米国以外に居住しています。日本のメンバー数は約14,000人（学生メンバー約2,000人）になります。（2023年11月時点）

IEEEには39の Society(専門部会) があり、その地域での組織である2,709のチャプターが世界中で活動しています。また、100ヶ国以上の大学に3,635の Student Branch（学生部会）があり活発な活動をしています。電気工学全般はもとより、コンピュータサイエンス、コミュニケーション、ロボット工学、持続可能なエネルギーシステム、航空宇宙、ヘルスケア 等多岐にわたる専門家に向けたサービスを提供し支援しています。

IEEEメンバーになることで、600万件を超える文献の利用、最先端技術情報へのより簡単なアクセス、460,000以上のメンバーとともに学び、コラボレーションをしていくリソースと機会があります。

メンバーグレード

プロフェッショナルメンバーにはそのキャリア形成をサポートする“メンバーグレード”をご用意しています。

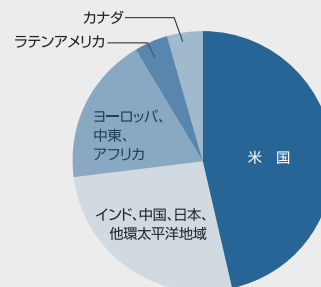
Member : IEEEの指定する分野で、学士号を取得または専門的技能により3年間の職業経験を有する者。

Associate Member : Memberの資格を満たしていないが、IEEEの分野に興味を持っている者、IEEE活動に参加することにより将来Memberの資格を満たす努力をしている者。

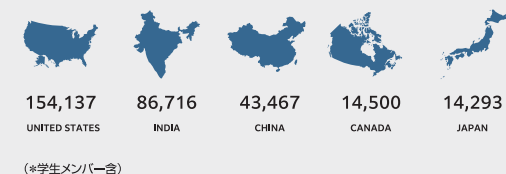
Senior Member : 少なくとも10年間（大学での研究年数含む）、専門的業務に携わっており、そのうち少なくとも5年間にわたり重要な業績を挙げた者。

Fellow : 連続5年以上の会員歴を有するSenior Memberで、IEEEの指定する分野で非常に優れた資質、経験を有し、その分野において著しい貢献をした者に与えられる。推薦によりIEEE役員会が決定する。

メンバーの地域分布



メンバー数上位5ヶ国



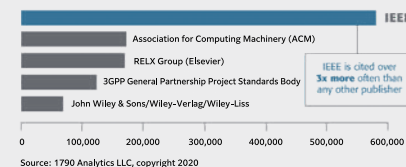
IEEE Xplore®を利用する企業/団体の数

自動車関連企業	上位5社中3社
半導体企業	上位30社中27社
通信サービス企業	上位10社中7社
航空・防衛関連企業	上位10社すべて
コンピュータハードウェア企業	上位10社中7社

Source: 2022 Forbes Global 2000 rankings

特許とIEEE文献引用数

北米特許において、IEEEの文献は他の出版社と比べて3倍近く引用されています。



メンバーシップ料金	プロフェッショナルメンバー	学生メンバー
FULL YEAR (1月1日~12月31日)	US\$ 175.00	US\$ 27.00
HALF YEAR (7月1日~12月31日)	US\$ 87.50	US\$ 13.50

※上記年会費は2025年メンバーシップの新規入会に適用。なお、年会費は予告なく変わる場合があります。

※お支払いはIEEEジャパンオフィスへの銀行振込も承ります。

IEEEメンバーシップはオンラインでお申込みください。



Student Branch

Student Branchとは：IEEE学生会員のサークルのような集いの場です。自身と共通の分野にいる仲間との出会いだけでなく異なる分野を目指す人たちとの繋がりから刺激をうけることもあるでしょう。様々な技術分野でイノベーションを推進する大学教員や業界の専門家とのつながりを与えてくれる場でもあり、学生向けの特別プロジェクト、親睦会、技術会合、会議、支部や地域での活動など、Student Branchに所属し交流することで、学生個人では成しえないネットワークの構築、イベント開催やStudent Branchの運営によるリーダーシップとマネジメントスキルの習得の機会があります。

Student Branchは日本国内を中心として活動するローカルな活動と、海外のStudent Branchと協働する活動もあります。



<https://students.ieee.org>

ローカル活動

日本国内の大学に作られた Student Branchでの活動です。各種イベントを学生が自ら中心となって企画運営するIEEEならではの“ボランティア活動”を通じて、組織運営を経験しリーダーシップやファシリテーションを学ぶ機会にもなります。そして特に顕著な貢献をした学生ボランティアをIEEE Japan Council Student Activities Award（学生活動賞）で表彰しています。

イベント例）論文コンテストやワークショップ、論文書き方講座、英語によるプレゼンテーション大会、研究発表会、キャリア開発講座などプロフェッショナルへのスキル向上に役立つイベント参加の機会。IEEE会員のネットワークにより企画される企業訪問は就職活動にも役立ちます。

日本国内のStudent Branchの数：36大学（2023年時点）

グローバル活動

IEEEでは、学生がそれぞれの分野で優れたパフォーマンスを発揮できるよう多様なコンテストを実施し表彰することで学生の研究へのモチベーション向上や就職活動でのアドバンテージとなるようにと考えています。アジア・パシフィック地域では「IEEE Region 10 Student Congress」が2年に1回開催されており、学生会員の育成や交流の場となっています。

100以上の国々の **635**大学 にStudent Branch があります

Student Branch活動写真コンテスト

学生会員の活動成果を称える表彰も多数あります。

- ・ Student Branch 活動写真コンテスト
- ・ WIE Student Branchリーダーシップアワード
- ・ エンジニアリングコミュニティやプロジェクトへの貢献への表彰
- ・ Student Activities Awards 活動の表彰



学士課程を卒業後の早期キャリアステージにいるIEEE会員が、技術的およびプロフェッショナルなコミュニティとつながり、学術界や産業界で活躍するためのキャリア形成の機会を得ること、また、IEEE会員として多様なメンバーとの出会いと学びを得ることにより最高の経験を積んでいくことを目的としています。YPは日本国内を中心として活動するローカルな活動と、海外のYPと協働する活動もあります。

国内のグループ数

6 (札幌、仙台、東京、名古屋、関西、ジョイント広島+四国+福岡)

ローカル活動

キャリア形成に役立つ独自のイベントを企画・運営しています。YPはより高い専門性への移行過程であるので、プロフェッショナルメンバーやSocietyの各分野とも協働しアドバイスをもらう機会もあります。

イベント例) 最新技術についての勉強会、エッセイコンテスト、Overleaf(LaTex)使い方講座、若手技術者向けキャリア開発ワークショップ、論文書き方講座、企業訪問、小学生から高校生に向けSTEM教育イベント、など

グローバル活動

IEEEやSocietyによる国際会議でのYP向けプログラム、コンテスト、表彰、ネットワーキングイベントでの交流を通じて、自身のプロフェッショナルとしてのスキルを向上させるとともに世界で活躍する業界のロールモデルやメンターを見つける、また新たなパートナーとの関係構築の機会にもなります。

グローバルのYPグループ数：**234**

2024年時点

<https://yp.ieee.org>



YPウェブサイトより



2023年キャリアワークショップより

IEEE JOBSite
求人広告、レジュメ作成指導サービス、メンター
<https://jobs.ieee.org>





WIEグループは、世界中の女性および女子をつなぎ、支援し、励まし、STEM (Science, Technology, Engineering, and Mathematics) 分野での採用と定着を促進し、技術革新と卓越性を育成することをミッションとしています。STEM分野における多様性、公平性、包括性の向上に貢献し、その活動が世界的に評価されるよう努めています。WIEメンバーは世界125ヶ国以上に約20,000人を擁し、年間4,000以上のイベントを開催しています。

WIEはメンバーの性別や年齢に関わらずその多様な才能を活かし、人類の利益のためにイノベーションをもたらすことを目指しています。性別や年齢に関わらず、理工系でのダイバーシティを促進し、女性技術者や研究者のネットワーク構築とプレゼンス向上を支援するグループです。また、SocietyにもWIEグループがあり、それぞれの業界や専門分野でのキャリア構築におけるベストプラクティスの共有や、ロールモデルやメンターとの交流、将来のキャリアの発展に役立つリソースを得る機会となります。

国内のグループ数

6

札幌、仙台、ジョイント東京+信越、名古屋、関西、ジョイント広島+四国+福岡

ローカル活動

最新技術についての勉強会、コンテスト、学術講演会、シンポジウム、女子学生向け交流会

グローバル活動

技術会議でのワークショップ開催と業績の表彰

R10 Women In Engineering Outstanding Section Affinity Group Award : ボランティア活動を表彰

WIE International Leadership Conference (ILC) : リーダーシップ、イノベーション、アントレプレナーシップを目的としたミドル～シニアレベル向け会議

グローバルのWIEグループ数： **208**

<https://wie.ieee.org/>



WIE Magazine 年二回発行

科学、テクノロジー、エンジニアリング、数学の分野で成功したキャリアを持つ女性のプロフィールと事例、および次世代の女性にSTEM分野の魅力を伝える教育プログラムを紹介しています。



WIE Newsletter "Exchange" 隔月発行

世界各地のWIEグループによる活動紹介

WIEに関連する電子書籍

エンジニアリング専門家としての女性にフォーカスした、特にSTEM分野の学生に読んでいただきたい内容です。この電子書籍は、エンジニアリングのキャリアの選択肢と、エンジニアリングが私たちの未来をどのように形作るかについての認識を提供します。女性エンジニアの業績を評価する取り組みの一環として、各エンジニアリング専門分野に関連するSocietyの女性エンジニアの仕事と技術専門家としての貢献に焦点が当てられています。





Education 教育サービスの提供

IEEEは工学・技術教育のリーダーであり、大学入学前のSTEM教育、大学生向け、およびプロフェッショナルに向けた継続的専門教育のためのリソースを提供しています。

Pre-university STEM education programs



このプログラムでは、教師、保護者、生徒に向けて8歳~18歳まで年齢別にSTEM教育の教材（ゲームから実践的な設計課題まで）とレッスンプランを提供しています。このレッスンプランでは、エンジニアリングとテクノロジーというSTEM領域の仕事に触れる体験に加えて、物事の本質を捉え判断するクリティカルシンキング力、チームビルディング力、問題解決力を養いながら、主要な工学的概念を強化することが目的です。いずれのレッスンプランも安価な材料費で、プランに記載のツールキットに従えば容易に実践できるようになっています。（*詳細はIEEE TryEngineeringページよりご確認頂けます。）

IEEE会員のボランティア活動の一つとして将来を担う子供たちにエンジニアリングの魅力を広める教育活動があります。こうした活動で使うSTEMプログラムについては、IEEEのグローバルなボランティアコミュニティとベストプラクティスを共有し、他のボランティアの活動からアイデアを得ることもできるポータルサイト：

IEEE Pre-University Volunteer STEM Portal User Guide を通じてボランティアの活動を支援しています。



<https://tryengineering.org/>

IEEE Continuing Education Courses



このコースでは大学生、早期キャリア段階にある人、そして既に第一線で活躍しているプロフェッショナルまで、あらゆるキャリアステージの人々に向け、最新技術やキャリアアップに役立つスキルを学ぶことができるコースを提供しています。

資格認定（再認定）の要件となるIEEE Credentialing Program: Continuing Education Units (CEUs) やProfessional Development Hours (PDHs)を取得できるプログラムもあります。

コースの例) English for Technical Professionals、キャリア開発、マネージメント、リーダーシップスキルの取得。（*詳細はIEEE Learning Network (ILN) ページよりご確認いただけます。）



<https://iln.ieee.org/public/TrainingCatalog.aspx>

IEEE Academies™

IEEEアカデミーは、2020年 IEEE会長：福田敏男先生と IEEE理事会の生涯教育に関する委員会によって開始されました。産業界で働く人に向け、需要の高い技術概念をその技術に関する深い知識を必要とせずに学ぶことができるような学習形式となっています。これにより、学習者は基本的な概念を理解し、それを一般的な業務や技術ニーズのコンテキストに適用できるようになります。

IEEE Academy™ *Internet of Things*

Communications Standards コース
Computing Platforms コース

IEEE Academy™ *Smart Grid*

Distribution Automation コース
Microgrid コース

IEEE Academy™ *Artificial Intelligence*

Distribution Automation コース
Microgrid コース



<https://www.ieee.org/education/academy-index.html>

日本国内のIEEE会員による教育活動

IEEEジャパン・カウンシルによるライブウェビナー「IEEE Engineer Spotlight」は日本国内のIEEE会員によるローカルな教育活動です。将来のキャリアを考えるパネルディスカッションから最新の技術動向まで、IEEE会員の専門性を生かしたセミナーを会員みずからがボランティア活動として企画運営しています。



第1回
IEEEエンジニア・スポットライト

「インターネットとIEEE」
西原明法先生（東京工業大学）



<https://www.ieee-jp.org/japancouncil/EA/EngineerSpotlight>

Society






IEEEには39のSocietyがあり、それぞれが専門分野で活躍する391,074人のSocietyメンバーに様々な利点を提供しています。Societyの会員になることで自身の選んだ技術分野の最新情報をキャッチアップしたり、国内外の研究仲間とのネットワークを構築したり、主な専門家との研究やプロジェクトに協働したりする機会があります。技術学術誌では査読ボランティアの機会を得たり、国際会議開催においては、技術の専門家としてだけでなく運営委員としてリーダーシップスキルを向上させる機会にもなります。

Societyに参加する事で、最新の技術学術誌へのアクセスや会議参加費割引、教育リソースの活用、世界的なネットワーキングの機会など、数々の会員特典をお楽しみいただけます。IEEEメンバーであればSociety年会費が特別割引価格となります。また、Societyでは、それぞれの分野で優れた業績を持つ会員をDistinguished Lecture (DL) に選出します。DLには世界各地で技術講演を行う機会を提供しています。

日本国内にはSocietyのローカルOUである71のチャプターがあります。チャプターは国内のそれぞれの地域において講演会や勉強会、および学生や若手研究者の成果を表彰しキャリア開発の支援をしています。

特定の技術を基に多分野のSocietyが協働して取り組む技術コミュニティテクニカルカウンシルは、広範な技術分野で協力するSocietyのグループで、技術ミーティングや出版、教育活動の支援、標準規格開発などといった会員の活動をサポートしています。テクニカルコミュニティは、幅広い分野や新興のテーマに興味を持つ技術者を集めて、つながりや最新情報の共有を促進します。

Society会員数TOP5 (2023 IEEE Annual Report より)

	設立 1946年	IEEE Computer Society	56,941人
	設立 1964年	IEEE Power & Energy Society	42,843人
	設立 1952年	IEEE Communications Society	34,932人
	設立 1948年	IEEE Signal Processing Society	21,455人
	設立 1987年	IEEE Robotics and Automation Society	18,915人

全ての39 Society一覧

- Aerospace and Electronic Systems Society
- Antennas and Propagation Society
- Broadcast Technology Society
- Circuits and Systems Society
- Communications Society
- Computational Intelligence Society
- Computer Society
- Consumer Technology Society
- Control Systems Society
- Dielectrics and Electrical Insulation Society
- Education Society
- Electromagnetic Compatibility Society
- Electron Devices Society
- Electronics Packaging Society
- Engineering in Medicine and Biology Society
- Geoscience and Remote Sensing Society
- Industrial Electronics Society
- Industry Applications Society
- Information Theory Society
- Instrumentation and Measurement Society
- Intelligent Transportation Systems Society
- Magnetics Society
- Microwave Theory and Technology Society
- Nuclear and Plasma Sciences Society
- Oceanic Engineering Society
- Photonics Society
- Power Electronics Society
- Power & Energy Society
- Product Safety Engineering Society
- Professional Communication Society
- Reliability Society
- Robotics and Automation Society
- Signal Processing Society
- Society on Social Implications of Technology
- Solid-State Circuits Society
- Systems, Man, and Cybernetics Society
- Technology and Engineering Management Society
- Ultrasonics, Ferroelectrics, and Frequency Control Society
- Vehicular Technology Society

Future Directions



Future Directionsは新興テクノロジーに取り組む複数のSocietyからなるグループです。国際会議、ニュース記事、技術論文、関連する標準規格、専門団体、そしてアカデミックプログラムに繋がる機会を提供しています。Future Directions は各イニシアティブの発展段階に応じて3つのグループに分かれます。

Graduated Initiatives

ライフサイクルを経て成熟化すると認められたグループです。



New Initiatives

新しい技術分野について既存の各Societyの専門分野の枠を越えてコミュニティをつくり、将来実用化が期待されている先端技術へのリソースを提供しています。例えば、IEEE Digital Privacy には10のSociety、テクニカルカウンシルとIEEE Standards AssociationおよびIEEEの教育活動グループが参加しています。



New Technology Proposal List

これからグループ化される予定のある取り組みです。詳細はこちらでご覧いただけます：

<https://cmte.ieee.org/futuredirections/ieee-future-directions-new-technology-proposal-list/>



IEEE Resource Center ではSocietyにより開発された、それぞれの専門分野の技術者としてのスキルアップを目指す教育コンテンツで、ウェビナー、会議でのプレゼンテーション、あるいはワークショップなどの形で提供しています。各Societyの会員であればこれらに無料でアクセスできます。

詳しくは <https://resourcecenter.ieee.org/> よりご確認ください。



標準規格

IEEE SA STANDARDS ASSOCIATION

IEEE Standards Association (IEEEスタンダーズ・アソシエーション)

IEEE Standards Association (IEEE SA) はIEEE組織の中で標準化活動を支援する部門です。標準化を通じて、産業、社会そして人類の利益に貢献し、より良い技術を、より安全で、より持続可能な未来の実現に向けて活動しています。標準化活動には、ワーキンググループ、会員、ボランティアコミュニティなど175以上もの国から技術者、学術専門家、ビジネスリーダー、政策立案者などを含む35,000人以上が協力し、策定中プロジェクトを含む2,000以上の規格に参加しています。そうした参加者による技術標準策定や関連製品・サービスの開発が市場の創造と拡大を生み、社会、消費者、企業、政府に利益をもたらすようサポートする役割をIEEE SAは担っています。

IEEEの標準化プロセスは公開されており、参加者に対して手続きの正当性、開放性、コンセンサス、バランス、そして審判請求権を守ることにより、常に公平で民主的な手段で達成されます。現在IEEEでは1,144件以上のスタンダードが実用化され、1,018件以上が開発中です。IEEE会員であることとIEEE SA会員であることは異なります。IEEE会員になれるのは個人のみである一方、IEEE SA会員は個人でも団体でもなれます。IEEE SAのメンバーシップは、その会員がIEEEでの標準化作業に参加することを前提としています。

INDIVIDUAL MEMBERSHIP

7,500+ individual members in 94 countries

CORPORATE MEMBERSHIPS

340+ member corporations in 25 countries

STANDARDS & RELATED ACTIVITIES

35,000+ global participants;
all interested parties are welcome
2,000+ Standards & Projects

GLOBAL AGREEMENTS

180+ Global agreements



<https://standards.ieee.org>

Standards Development Life Cycle

標準規格はこのような1～6のステージを経て発行されます。内容更新や停止するもの、また新たなプロジェクトの開始までがライフサイクルになっています。

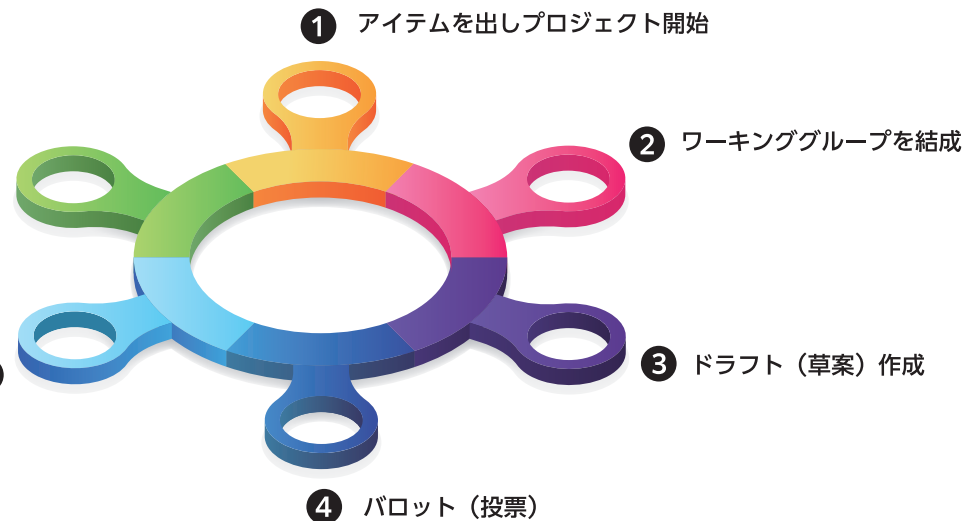
①～③ IEEE で標準化したい案件があれば、アイデアの段階では大雑把なものでも具体的なものでも構いません。ただ、標準化を進めるには一個人ではなくグループの協力と同意が必要となります。IEEE SA で標準化プロジェクトを開始するには、その提案者はまずPAR (Project Application Request) をそのプロジェクトを組織的に担当するStandards Committee に提出する必要があります。PAR が認可されるとStandards Committee はその標準化したい案件に責任を持ち、技術的な監督を行います。Standards Committee は通常はIEEE のソサイエティが務め、提案したい標準化プロジェクトの分野や領域によって複数のソサイエティやIEEE SA そのものが務めることもあります。IEEE SA はStandards Committee に適当なソサイエティを決めるお手伝いもします。

PAR をStandards Committee の審査にかなうものになりたい人たちは、集まってPAR提出前に議論を重ねたいかもしれません。その集まりをスタディ・グループ (SG) と呼び、このグループがPAR 承認後に実際に標準化の議論を重ねるワーキング・グループ (WG) に発展することもあります。

IEEE の標準化活動には2つのカテゴリーがあります。ひとつはIEEE SA の個人会員および非会員 (個人) がWG に参加して議論を重ねて開発に至るもの (Individual Project) です。もう一方はIEEE SA の団体会員によって議論と開発がされるもの (Entity Project) です。団体会員には企業、教育機関および政府機関などがなれます。

⑥ 標準規格の維持・改訂/停止

IEEE SA理事会の最終承認～発行



団体会員はIEEE SA におけるいずれのEntityProject にも参加でき、それらのWG 情報は団体会員のみに表示されます。IEEE で標準化をしたい案件がある場合、それをIndividual Project としたいかEntityProject にしたいかはPAR 提出の際に示し、決定するのはStandards Committee となります。IndividualProject のWG の議論にはIEEE 会員でも、IEEE、IEEE SA いずれの非会員でも参加することができます。

④～⑤ WG での議論がある程度進んだ段階で、Standards Committee はそのスタンダードに関心がある個人あるいは団体によって構成されるバロット・グループを設け、議論されてきた主な仕様の可否を決める投票 (バロット) が行われます。議論中の仕様にはどなたでもコメントすることができますが、バロットには一定の資格を有するWG 参加者やIEEE SA 会員および一回限りの投票権を購入した方が参加でき、それぞれが一票 (賛成、反対あるいは棄権) を投票します。バロット・グループの設置に際して最も必要なことは、バランスになります。バロットに際しては、それが特定のグループや企業の利益に資するものであってはなりません。このため、バロット・グループの人選は、WG に関わっていたというだけでなく、利用者や生産者などの様々な観点から投票できるよう進められます。75% 以上の投票参加者から75% 以上の賛成を集められれば、そのスタンダードはIEEE SA 理事会で承認の運びとなり、発効します。



<https://standards.ieee.org/develop/>

生活にとけ込むIEEEスタンダード

標準化を行うことにより、私達の生活や仕事、コミュニケーションなどにおいてその様式を変えるような様々な製品やサービスの機能性や相互運用性が高まります。

スマートホームデバイス等に使用されている IEEE標準規格

健康管理のデバイスに使用されている IEEE標準規格

IEEE SA
STANDARDS ASSOCIATION

ENABLING CONSUMER CONNECTIVITY THROUGH CONSENSUS BUILDING

RAISING THE WORLD'S STANDARDS

HOME NETWORKING STANDARDS
IEEE 802.11™
IEEE 1901.1™
IEEE 1901.2™
IEEE 1905.1™
(Communication inside the Home)

SMART GRID INTO HOME DEVICES STANDARDS
IEEE 802.2™
IEEE 1901.1™
IEEE 1901.2™
IEEE P1815™

SMART GRID INTO HOME DEVICES STANDARDS
IEEE 1547™ Series™
(Distributed Energy Interconnection, Solar, Wind, Storage, etc.)
IEEE 2030™

SMART METERING STANDARDS
IEEE P1377™
IEEE P1701™
IEEE P1702™
IEEE P1703™
IEEE 1704™

3D VIDEO STANDARDS
IEEE 1857.9™
IEEE P3141™

MOBILE VIDEO STANDARDS
IEEE 802.11™
(Intelligently Cashed Mobile Content)
IEEE 1858™
(Camera Quality)

ELECTRIC VEHICLE STANDARDS
IEEE 802™ Series™
IEEE 1901.1™
IEEE 1901.2™
IEEE 1609™ Series™
(Vehicular Communications)
IEEE P2040™ Series™

IEEE

IEEE SA
STANDARDS ASSOCIATION

IMPROVING PERSONAL HEALTH DEVICE COMMUNICATIONS THROUGH CONSENSUS BUILDING

RAISING THE WORLD'S STANDARDS

GLUCOSE METER
IEEE 11073-10417™

INSULIN PUMP
IEEE 11073-10419™

CONTINUOUS GLUCOSE MONITORING
IEEE 11073-10425™

SLEEP APNEA BREATHING THERAPY EQUIPMENT
IEEE 11073-10428™

PHYSIOTHERAPY
IEEE P2788™

ACCESSIBILITY
IEEE P2049™ Series™

HUMAN AUGMENTATION
IEEE P2049™ Series™

CONNECTIVITY TRANSPORTS
IEEE 802.11™
(Often referred to as WiFi™)
IEEE 802.15.4™
(Often referred to as Zigbee™)
IEEE 11073-30400™
Near Field Communications
IEEE 802.3™
(Often referred to as Ethernet)
IEEE 2511 Series™
Wireless Diabetes Device Security Assurance

CLOUD
IEEE 2301™
IEEE 2302™

PULSE OXIMETER
IEEE 11073-10404™

BLOOD PRESSURE MONITOR
IEEE 11073-10407™

BODY COMPOSITION ANALYZER
IEEE 11073-10420™

CARDIOVASCULAR FITNESS & ACTIVITY MONITOR
IEEE 11073-10461™

WEIGH SCALE
IEEE 11073-10412™

ELECTROCARDIOGRAPH (ECG)
IEEE P11073-10406™

IEEE

様々な取り組み

IEEEと多様性



人類社会に有益な技術革新を発展させるというIEEEのミッションを達成するには、異なる国籍・文化・専門性のバックグラウンドを持つ様々な人々の才能や視点が不可欠です。IEEEは技術専門職における多様性の促進と、人種・宗教・性別・出身国・障害の有無・年齢・ジェンダー・アイデンティティなどを問わず高専の専門性に貢献する、包括的で公平な環境の実現にコミットします。

IEEEは多様性、公平性そして包括性の実現に向けて、専門性に基づくSocietyなどのコミュニティに加え、IEEE Life Members (LM), IEEE Women in Engineering (WIE) や IEEE Young Professionals (YP) などの専門性を超えたコミュニティを提供しています。日本国内でもそれぞれのSociety, LM, WIE, YPのグループが活動しています。



<https://www.ieee.org/about/diversity-index.html>

IEEE.tv



IEEE.tvはIEEE会員の協力で作られた、インターネットを利用するTVネットワークです。IEEEの会員や一般の方々に向けて、IEEEの各専門分野および自然エネルギー発電、生物医学工学、エレクトロニクス製品など、テクノロジーやIEEEのイベントについての旬のトピックの情報を高解像度ビデオやライブ・ストリーミングでお届けします。ビデオには日本語字幕が表示できるものもあります。



<https://ieeetv.ieee.org/>

IEEE Japan Channel

IEEEの共通言語は英語ですが、国内のIEEE会員ボランティアによって制作された日本語のIEEE.tvチャンネルです。IEEEが日本において活躍する会員の貢献を伝える番組をご覧ください。



<https://ieeetv.ieee.org/channels/ieee-japan>



IEEE ジャパン・オフィス

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館19階

Phone: 03-3408-3118

Fax: 03-3408-3553

Email: ieee-japan@ieee.org

Website: <https://jp.ieee.org>

IEEE

445 Hoes Lane

Piscataway, NJ 08854-4141 USA

Phone: +1 732 981 0060

Website: <https://ieee.org>

IEEE サポートセンター（お問合せ対応：英語のみ）

日曜日 4:30pm (EDT)～金曜日 4:30pm (EDT)

Email: contactcenter@ieee.org

Phone: +1 732 981 0060 (Worldwide)

Fax: +1 732 562 6380

